



印象と比較

だん
段

ねい
寧*

私は1983年12月20日に日本に参りました。出発前にいろいろなことを用意したために大変疲れて飛行機の中ではずっと寝てしまいました。目がさめるともう成田空港に到着して空から美しい日本の風景を見られなかったのはとても残念な気がしました。

日本に来て横浜国立大学工学部建設学科水理研究室で研究生として2年間留学する予定でしたが、今年の四月から大学院に入学することになりました。四川省の重慶建筑工程学院での専攻は港湾工学でした。四川省は内陸で海がありません。しかし楊子江などいくつかの河がありますので、港をつくるのは必要でかつ重要なことなのです。海に囲まれている日本は先進国であり港湾技術も大変発達しています。このことをきっかけとして日本に留学しようという覚悟をしました。

日本に来た最初の頃、日本の印象と言えば、きれいな町、礼儀正しい人々、それに朝の通勤ラッシュ時のぎゅうづめの電車と速い足取りで勤め先へ急ぐ人々でありました。2年近い歳月が過ぎ去った今では、日本に対する認識や感想がある程度述べられるはずなのに、まとめてみたら哀れにも失敗に終わりました。そこで、この2年の間に、普段の生活において、思いついたことの2、3をここに述べさせて戴く。

日本に来て、私が最初に驚いたのは、日本人の丁寧な挨拶であった。挨拶用語の多さ、お辞儀の深さは想像以上で、びっくりさせられた。別れる時、互いに3回も、4回もお辞儀をし、公衆電話で受話器に向ってもお辞儀をする。家庭内でも、朝起きて「お父さん、おはようございます」「おはよう」というふうに挨拶を通じて親子そして兄弟間で、和やかな雰囲気を作り出している。また、デパートに入ると「いらっしゃいませ」と温かく迎えられ、お客様は神様になったような気分さえする。時々、親切な店員が「お好みはどんなものですか」とたずねながらついてきて、こちらがかえって恐縮してしまう位である。

日本語では、挨拶の言葉が非常に発達している。横文字が氾濫している今日の日本であるが、この挨拶の言葉だけは強く生き残っている。日本語の勉強の時「ややこしくて、難しいなあ」と思ったこの挨拶がいつの間にか、有難いものになって来た。他人に対する気持を表わす目的で使うの

はもとより、見知らぬ人との交流の際は、この挨拶が便利で、役に立つことがある。一言の挨拶で、人と人との間隔を縮め、十分な情報の交換が出来る。「顔を知っているだけ」より「挨拶したことがある」方がより近い関係にあることは言うまでもない。挨拶は人間関係を円滑にするための滑潤油である。

つぎに、とても印象的であった日本の交通機関について少し話しましょう。以前、日本語を勉強するときに「衣、食、住」という文章を読んだことがあった。文章の内容は人間にとって大切な衣、食、住三つのことについて日本の特徴、歴史、風俗習慣などが書かれていました。もし、私自身が同じような内容について文章を書くとすれば祖国の古くからの言い方である「衣、食、住、行」としたでしょう。なぜ「衣、食、住、行」という題目にするのかと言いますと、中国人は「行」ということが衣、食、住と同じ重要性を持つものであると認識しているからである。また言葉としてこの四つの文字が一緒に使われる習慣になっているからである。よく考えてみますと確かに「行」は衣、食、住と同じように毎日毎日人間の生活に欠かせないことである。もし「衣、食、住、行」のことをうまく解決できたとすれば、人間の生活条件は基本的に保証されたといっても過言ではないであろう。先進国の日本はこの基本的なこと、同時に最も大切なことに対して円満に解決しているようである。特に、長くて狭い国土を有効的に利用して、合理的に全国の道路、鉄道を設置して完璧な全国交通ネットが形成されている。その上、バスとか地下鉄とか電車などの時刻は相当正確で、待つ時間もあまり長くない。これらは利用者にとってとても気に入ることだと思う。一言で言えば狭くて軟弱な地盤をよく改善して立派な交通機関を構成したということは非常に素晴らしいことだと思う。

さて土木の仕事をしている女性の私にとって日本の女性と中国の女性の違いについて日頃感じていることがある。以下、このことについて話しましょう。

初対面の日本の方と交談するとき「女性で土木の仕事をしてめずらしいなあ」という話が必ず出る。時々、「女性がつくったトンネルが倒れる」という話も耳に入ってきた。いまの中国の女性は95%以上仕事をしていて、その中で特に看護婦、医者、幼稚園・小学校・中学校・高校の先生、紡織業界、サービス業界などに従事している人数は女

*横浜国立大学工学部 計画建設学専攻

ねんどざいく

性が圧倒的に多い。また工学の分野で技術的な仕事をしている女性も少なくないので、彼女たちもトンネルとか、ダムとか、港湾などの設計に携わっている。家事と子供の教育をしなければならない中国の女性にとって仕事をするのは楽しい面もあるし疲れる面もある。また、中国の男性も女性と同じように仕事をしながら家事と子供の教育をする。この点は、非常に日本の方にとって考えられないことだと思う。一つの国としての社会結構からみて、日本の女性の大部分が専門主婦になってあるいは事務とかサービス業界とかの仕事をしていることは、男女の生理差別の点から見ると男性と女性がそれぞれ適応な仕事をして割合にいいことだと思います。女性は専門主婦になって、男性は仕事をするというやり方には多くの中国の男性が賛成すると

思う。もう一つの特徴として、中国の女性が男性と同じ仕事をして、得る給料は男性と同じです。このことが男性に対する依頼性を相対的に少なくして、確かに男女平等である。経済的に依頼性がないと、ある程度人間が強くなるかも知れない。中国の女性は強すぎ、日本の女性はやさしい、このような見方を持つ中国の男性は大分多いであろう。

以上、私が思いついたことや感じたことをそのまま素直に書いてみたのであるが、認識不足のため、いろいろと間違った見方をしたかも知れない。いままでの留学生生活はとても有意義な体験であった。これからはもっと努力して専門を勉強しながら日本国と日本人の心を深く理解しようと思う。

(原稿受理 1985.10.29)

土質工学会発行図書案内

海洋開発における基礎構造物の現状シリーズ1～5

	会員特価	定 価	送 料 (各1冊)
1. 設 計 基 準 お よ び 事 例 (A 5判 289ページ)	2,000円	2,600円	350円
2. 施 工 技 術 (A 5判 309ページ)	2,500円	3,300円	
3. 海 洋 構 造 物 の 計 画 (A 5判 360ページ)	3,300円	4,300円	
4. 施 工 機 械 ・ 材 料 (A 5判 122ページ)	1,700円	2,200円	300円
5. 海 底 地 盤 の 調 査 方 法 (A 5判 298ページ)	3,200円	4,100円	350円

設計施工基準集(施工編)土工	(B 5判 465ページ)	3,800円	4,800円	350円
クイの鉛直載荷試験基準・同解説	(A 5判 252ページ)	1,900円	2,500円	
杭の水平載荷試験方法・同解説	(A 5判 60ページ)	1,000円	1,300円	300円
地盤の平板載荷試験方法・同解説	(A 5判 184ページ)	2,200円	2,800円	
アース・アンカー工法	(A 5判 236ページ)	2,500円	3,300円	
コルゲートメタルカルバート・マニュアル〔第2回改訂版〕	(A 5判 165ページ)	2,250円	2,950円	200円
サンプリングマニュアル〔第1回改訂版〕	(A 5判 162ページ)	2,000円	2,600円	
力計の使用指針	(A 5判 29ページ)	600円	800円	200円
岩の工学的性質と設計・施工への応用	(A 5判 838ページ)	6,500円	8,500円	400円
ロックフィル材料の試験と設計強度	(B 5判 287ページ)	3,200円	4,200円	350円
大阪地盤—特に洪積層の研究とその応用	(B 5判 415ページ)	6,000円	7,800円	400円
技術手帳(実務に役立つ土質工学用語の解説)	(B 6判 320ページ)	1,500円	2,000円	300円
土質工学ケースヒストリー集(第1集)	(A 4変形判 759ページ)	8,500円	11,000円	450円
実例による土質調査	(B 5判 251ページ)	3,800円	4,900円	350円
土質断面図の読み方と作り方	(A 5判 163ページ)	2,200円	2,800円	300円
土質工学会文献要約集(1979年版)	(B 5判 561ページ)	5,000円	6,500円	400円
複合地盤に関する文献目録	(B 5判 85ページ)	700円	900円	300円

講習会テキスト

N値およびcとφの考え方	(B 5判 110ページ)	1,500円	2,000円	300円
設計における土質定数の考え方	(B 5判 62ページ)	800円	1,000円	
土質工学におけるSIの使い方	(B 5判 117ページ)	1,500円	2,000円	
シールド工法と土質	(B 5判 123ページ)	1,600円	2,000円	
杭施工の問題点とその対策	(B 5判 73ページ)	800円	1,000円	
土質・基礎工学における有限要素法の適用	(B 5判 203ページ)	3,000円	3,900円	350円
地盤の液化	(B 5判 134ページ)	1,800円	2,400円	
土と基礎の設計計算演習〔第3回改訂版〕	(B 5判 418ページ)	4,700円	6,100円	
構造物基礎の設計計算演習	(B 5判 368ページ)	4,800円	6,200円	300円
土を測る—現場計測と施工管理—	(B 5判 118ページ)	2,000円	2,600円	
昭和60年度最近の土質・基礎に関する講習会講演資料	(A 4判 189ページ)	4,900円	6,400円	350円
連続地中壁工法〔第1回改訂版〕	(B 5判 226ページ)	3,800円	4,900円	

注：書店でお買い求めの場合には、会員特価になりません。